

# 浅口市立鴨方中学校 令和5年度 学力・学習状況調査結果の概要 令和5年10月26日公表

全国学力・学習状況調査の概要	
学 力 面	学 習 状 況 面
<p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語科では、語句の意味など、国語の知識の分野、また、「話す聞く」の領域においてメモの取り方などの正答率が高かった。</li> <li>○ 数学科では、基本的な数と式の問題、データを活用する問題で、正答率が高かった。</li> <li>○ 英語科では「聞くこと」の正解率が高く、情報を正確に聞き取る力が高い。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▲ 国語科では、知識や経験に触れながらなどの条件にあわせた文章を書くことが苦手である。また、古文に対して苦手意識を持っている生徒が多い。</li> <li>▲ 数学科では、関数や図形に関する問題に苦手を感じる生徒がいる。</li> <li>▲ 英語科では、長文問題で要点を捉えることが難しく、理解が不十分である。</li> </ul>	<p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平日に1日1時間以上家庭学習をしている生徒が全国平均以上である。</li> <li>○ あいさつをしっかりとっている生徒が多い。</li> <li>○ 地域の行事に参加している生徒の割合が、全国より高い。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▲ 学習していることが、ほかの教科の学習に役立つことを実感しにくい。</li> <li>▲ 自分で計画を立てて勉強する生徒の割合が低い。</li> </ul>

岡山県学力・学習状況調査の概要	
学 力 面	学 習 状 況 面
<p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語科では、漢字の読み書き、文法事項など基礎的な部分の正答率が高い。また、説明的な文章の読み取りにおいても、叙述を基に文章の内容をとらえることができている。</li> <li>○ 数学科では、式の計算や一問一答式の問題の正答率が高い。また、式や表・グラフから読み取る力もある。また、全体的に無回答率が低い。</li> <li>○ 英語科では「書くこと」の正答率が高く、場面に応じたり、情報に基づいたりして英作文を書くことができている。(1年)</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▲ 国語科では、「書くことの領域」において、条件にあわせて簡潔に書くことが苦手である。また、無回答率も高い。</li> <li>▲ 数学科では、最頻値と中央値を求める問題(1年)や、角の二等分線の作図(2年)が課題となっている</li> <li>▲ 英語科では、英文の読み取り、必要な情報がどの部分にあるかを把握して、適切な箇所を選ぶことがやや苦手である。また、英作文など、英語を使って表現する力が弱い。(2年)</li> </ul>	<p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 計画を立てて勉強するなど、家庭学習ができている生徒が多い。</li> <li>○ 授業に前向きに取り組む生徒が多い。</li> <li>○ 地域や郷土に愛着を持つ生徒が多数いる。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▲ 自主的な学習にあまり取り組めていない。</li> <li>▲ 意見交換でICT機器があまり使えていない。</li> <li>▲ 読書時間の不足、どういう意図で相手が話したり、伝えたりしているか読み取ることが苦手な生徒が多い。</li> <li>▲ ネットの使い方について課題がある生徒が多い。</li> </ul>

## 改 善 策

### 学 校 で の 取 組

#### ① 授業規律

授業の前後のあいさつ・教室環境の整備

#### ② 分かりやすい授業の工夫

習得時、課題解決時のみでなく、発表時、意見交換時にもICT機器を活用した授業。ペア活動、話し合い活動など、言語活動、コミュニケーション活動の充実。

#### ③ 基礎基本の定着のための取り組み

生活記録表と一体となった、自主学習ノートの活用。漢字小テスト、計算テスト、英単語テストなど、授業時における帯活動の充実。放課後学習サポートを活用した分かるまで粘り強く取り組む学習態度の育成

#### ④ 落ち着いて学習に取り組める集団をつくる。

- ・ i-check (生徒の現状を知るアンケート) 等を実施して生徒一人一人への理解を図るとともに、全体の傾向を分析し、有効な手立てを講じること。
- ・ 集団づくりのために学級活動、道徳、行事などで計画的な取組を行うこと。(「ほめ言葉のシャワー」の取組を中心として、人間関係づくり・コミュニケーション力の向上に取り組むこと。)

### あい・かもがた学園 での 取 組

○ カリキュラム「あい・かもがた学」に沿って、中学校区で一貫した指導を行い、基礎学力の定着、学び合い活動の充実を図る。

○ 「ほめ言葉のシャワー」の取組を通して、互いに認め合う温かい人間関係作りに努めるとともに自己肯定感を高めることができるようにする。

○ 各校の授業参観や情報交換の機会を設け、園・小・中学校のスムーズな接続を図る。

### 家庭・地域へのお願い

・ 課題は必ず1日に一つは出ているので、保護者に確認していただき、生徒自身が課題にどのように取り組んでいるか確認していただきたい。

・ ネットの使い方について、ルールを話し合うなど、家庭でよく相談していただきたい。

・ コミュニティ・スクールの活動を通して、学校、家庭、地域が、より強固に連携・協力しながら地域の宝である子どもたちを育てていきたいと考えています。ご協力、お力添えをお願いします。